

- 問1 九州地方に位置し、人口が約163.7万人である県の農業の特色について述べます。この県は、農業産出額が約4435億円と九州の中でも非常に高く、その内訳を見ると畜産が約2837億円と、産出額全体の半分以上を占めています。このような産業構造を持つ県はどこですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 沖縄県                      2. 鳥取県                      3. 鹿児島県                      4. 宮崎県
- 問2 地方ごとの自然災害の発生状況を調べると、九州地方では土砂災害の発生件数が極めて多い傾向が見られる。この背景にある、九州地方南部に広がるシラスなどの火山性地層の性質として適切なものはどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 水を通しにくく、粘土質である                      2. 水がしみこみやすく、もろい                      3. 地盤が強固で、浸食されにくい                      4. 保水力が高く、固まりやすい
- 問3 九州地方北西部の長崎県などに典型的に見られる、小さな岬と奥行きのある湾が複雑に入り組んで連なる海岸地形を何というか、名称を答えなさい。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. リアス海岸                      2. 干拓地                      3. カルデラ                      4. 砂州
- 問4 日本の諸地域の気候を統計資料から判別する場合、宮崎県（宮崎市）のデータに該当する特徴的な数値の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 1月の平均気温が氷点下となり、年間の降水量は季節による大きな変動がなく一定である。                      2. 1月の平均気温が約5度であり、12月から2月にかけての降水量が1年で最も多い。                      3. 8月の平均気温は約28度まで上がるが、年間の降水量は1200mm程度と非常に少ない。                      4. 1月の平均気温が約10度と高く、さらに6月と9月に降水量の大きなピークが見られる。
- 問5 宮崎県の自然環境と産業の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 複雑に入り組んだリアス海岸が北部に広がっており、冷涼な気候を活かしたリンゴの栽培が平野部で盛んに行われている。                      2. 県庁所在地の人口が100万人を超えており、九州地方の政治・経済の中枢として、主に自動車産業の工場が平野部に集中している。                      3. 北部の山地から南へ流れる河川によって平野が形成されており、温暖な気候を背景に近年はITシステム開発企業なども立地している。                      4. 県全体が火山灰の降り積もった広大な台地に覆われており、大規模な機械化による小麦の生産とIT産業の集積が特徴である。
- 問6 福岡県北九州市周辺の地域では、明治時代に官営の製鉄所が建設された歴史背景を活かしつつ、現在は環境負荷の低減を目指したまちづくりが行われています。このように、廃棄物をゼロにすることを目指してリサイクル工場などが集まった地域のことを何と呼びますか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. エコタウン                      2. 工業団地                      3. スマートシティ                      4. ハブ空港
- 問7 九州地方の熊本県に位置し、火山の噴火によって形成された世界最大級の凹地（盆地状の地形）である「カルデラ」を持つことで知られる活火山を選びなさい。 (2016年 三重県公立入試 類似)
1. 阿蘇山                      2. 霧島山                      3. 雲仙岳                      4. 桜島
- 問8 鹿児島県や宮崎県などを中心に、肉用牛や豚、鶏などの飼育が盛んな地域が九州地方です。この地方の農業産出額における品目別割合において、最も大きな割合を占めている部門はどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 野菜                      2. 米                      3. 果実                      4. 畜産
- 問9 日本の品目別の食料自給率と小麦生産の実態について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 小麦は米と同様に自給率が非常に高く、国内の需要をほぼ賄うことができているため、九州地方の全県が収穫量が全国トップ10に入っている。                      2. 米の自給率は100%に近い水準を維持しているのに対し、小麦の自給率は10%から20%の間と低く、国内では北海道のほか、九州地方の福岡県や佐賀県などが主要な産地となっている。                      3. 近年、米の自給率は小麦と同程度の10%から20%まで急落しているが、それを補うために福岡県や熊本県といった九州地方での小麦増産が進められている。                      4. 日本の小麦自給率は極めて低いため、国内での生産は北海道のみに限定されており、九州地方などの他の地域ではほとんど生産されていない。
- 問10 九州地方の南東部に位置し、ピーマンやキュウリなどの生産が盛んな宮崎県では、出荷時期を早める「促成栽培」が行われています。このような工夫を凝らした農業が行われる主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. ダムや水路などのかんがい施設を効率的に利用し、一度に大量の野菜を収穫するため                      2. 他の産地の出荷が少ない時期に市場へ供給することで、高い販売価格を得るため                      3. 夏の極端な高温や乾燥による被害を避けるため、収穫を春までに終わらせるため                      4. 大消費地である東京や大阪に近いため、輸送コストを抑えて新鮮なうちに届けるため
- 問11 鹿児島市の沿岸部において、1983年には海だった場所が2004年には「みなと大通り公園」や「水族館」が位置する陸地へと変化した。このような地形の変化をもたらした背景として正しいものはどれか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 地球温暖化の影響で海面が低下したことにより、浅瀬だった場所が自然に陸地化した。                      2. 都市機能の拡充を目的に、土砂などで海を埋め立てて新たな土地を造成した。                      3. 火山の噴火によって流出した溶岩が海岸線に到達し、冷えて固まることで土地が広がった。                      4. 大規模な地震によって地盤が急激に隆起し、海面下だった場所が陸地になった。
- 問12 北西太平洋に位置する熱帯低気圧のうち、最大風速が一定以上になったものを台風と呼びます。この台風が日本の九州・沖縄地方に及ぼす影響と人々の対応について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 一年を通じて発生し、冬には大量の降雪をもたらすため、屋根の傾斜を急にするなどの建築様式がとられている。                      2. 夏から秋にかけて接近することが多く、強風や大雨による自然災害をもたらすため、事前の備えが重視されている。                      3. 突発的に発生する地殻変動が原因であり、大規模な津波を引き起こす可能性があるため、高い防潮堤が築かれている。                      4. 活動を休止していた火山が急に噴火することで発生し、農作物に深刻な灰害をもたらすため、防灰ネットが活用されている。
- 問13 2020年のブリ類の生産統計において、海面養殖業の収穫量が全国合計（約13万7千トン）の過半数を占めている九州地方の状況として、適切な説明を選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 海面養殖業の収穫量上位5県はすべて太平洋側に位置しており、九州地方では宮崎県のみがその中に含まれている。                      2. 海面養殖業よりも海面漁獲量の方が全国の生産量は多く、九州地方では養殖よりも北海道などから運ばれる天然ものの流通が中心である。                      3. 鹿児島県が約4万3千トンと全国で最も多い収穫量を記録しており、大分県や宮崎県と合わせた九州3県で全国の過半数を占めている。                      4. 九州地方は天然のブリ類を対象とした海面漁獲量が全国で最も多く、長崎県や島根県が全国の収穫量の過半数を占めている。